

えんちょう通信

No. 7 5

令和 4 年 7 月 1 2 日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

言葉が未来を拓く

先週の7月7日(木)に、「七夕まつり」を行いました。
みんなで「たなばたさま」の歌を歌い、パネルシアターで織姫と彦星のお話を聞きました。その後、七夕飾りの短冊に書いた願いごとを発表しました。

まず、年少組の子が2人、発表しました。

「はやく はしれるように になりたい」

「びょうきをしないで まいにち ようちえんに いけますように」

次に、年長組の子が3人、発表しました。

「なわとびが 100かい できるように になりたい」

「プールに かおを つけられるようになりたい」

「さかあがりか 2かいれんぞく できますように」

どれも素直な願いごとで、いいなと思います。こうやって子どもたちは、未来を拓いていくのだなと嬉しくなっていました。

詩人の谷川俊太郎さんたちがつくった『にほんご』という本の中に、次のような言葉が書いてあります。

ひとは「そらを とぶことを ゆめみたり、かんがえたり、はなしたり、かいたり してきた。そうして やがて ひとは ひこうきを はつめいした。」

自分の思っていること、願っていることを「言葉」にして、そしてそれを大切にもち続けていくことで実現することは、たくさんあると思います。

年少組の子の短冊に、こんな素敵な願いごとが書かれていました。

「ようちえんの おともだちと たのしく あそびたいです。」

こういう優しい言葉が、やさしい心を育てていくのかもしれない。



《もし》

もしあなたが とりだったら、

そらを とぶのは

どんな きもちだろう。

とりになっただけ

からだを うごかして、

こころの なかで

そらを とんでみよう。

さあ、なにが みえる？

どんな おどが きこえる？

ひとは とりのように

そらを とぶことは できない。

けれど ひとは おおむかしから

そらを とぶことを ゆめみたり、

かんがえたり、はなしたり、

かいたり してきた。

そうして やがて

ひとは ひこうきを はつめいした。

もしあなたが せんせいだったら、

なにをしたい？

もしあなたが いしころだったら、

どんなかんじ？

(谷川俊太郎他 1979 『にほんご』
福音館書店)